

# 3 学年だより

2023 年 1 月 31 日発行



卒業式まであと

## 3 日

## ～世界がぜんたい幸福にならない うちは個人の幸福はあり得ない～



今でも 2、3 歳の子どもたちから絶大な人気があるアンパンマン。東日本大震災時ラジオ局には「アンパンマンのマーチ」のリクエストが多く寄せられ毎日どこかのラジオ局で流れていた。アンパンマンの生みの親であるやなせさんは震災時 92 歳だった。引退を撤回し歌やポスターをつくり被災地に送った。そして 2 年半後 94 歳で亡くなった。「人生は喜ばせごっこ」という自身の言葉の通り、アンパンマンをはじめとする多くの創作活動と自身の人生そのものを通してその精神を体現し続けた。

初期のアンパンマンはぼろぼろのマントをまとった「かっこ悪いアンパンマン」だった。出版社に「もう少しかっこよくできないか」といわれたやなせさんは「正義を行い、人を助けようとしたら自分も傷つくことを覚悟しなければならない。自分の食べ物をあげてしまったら自分が飢えるかもしれない。いじめられている人をかばったら自分がいじめられるかもしれない。それでもどうしても誰かを助けたいと思うとき本当の勇気が湧いてくるんだ。弱いものが勇気を出したとき本当のヒーローになれる」と話したという。

かっこいいヒーロー、武器を持って戦うヒーローを戦争体験者であるやなせさんは書かなかった。子どもたちには戦争がかっこいいと持ってほしくないからだ。「戦争をする国はみな自分たちが正しと考える。そして正義のために戦っているのだということを自国も相手国にも宣伝する。戦争とは殺し合いである。正義のための戦争なんてない。本当の正義はおなかをすいている人に食べ物を分け与えることだ。食べ物を分け与えることは人を生かすこと、命を応援することだ。命が大切なことは世界中、いつの時代でも変わらない」と気づき、アンパンマンを書いた。現在起こっているロシアによるウクライナへの侵攻をはじめ世界各地で起きている紛争を考える大きなヒントとなる。

若いころから苦労し、才能がない、世の中から必要とされていないと落ち込みながら、あきらめず 69 歳でアンパンマンが TV 放送された。「天才であるより、いい人であるほうがずっといい」と一生懸命頑張っている人を最後まで応援した。

テレビアニメになるにあたり「アンパンマンのマーチ」の歌詞はやなせさん自ら書き、一番大切なテーマ「何のために生まれて、何をしていきるのか」を入れた。深い歌詞に対してやなせさんは「子ども向けだからと言ってレベルは下げない。真剣に伝えれば子どもはちゃんと分かってくれる。大人より鋭い」と答えていた。傷ついても、悲しくても、生きている自分を大事にして、前向きに (\*)

### 今後の予定

- |     |      |                        |
|-----|------|------------------------|
| 2 月 | 5 日  | 商業経済検定                 |
|     | 9 日  | 追認考査                   |
|     | 12 日 | 古関裕而のまち 音楽の祭典・校歌 (音楽堂) |
|     | 21 日 | 登校日                    |
|     |      | 卒業式参加保護者人数調査 〆切        |
|     |      | 校歌・青春歌練習               |
|     |      | 服装頭髪指導 大掃除             |
|     |      | 成績証明書等 〆切              |
|     |      | 進路体験発表会                |
|     | 27 日 | 卒業式、表彰式礼法指導 (15:30~)   |
|     | 28 日 | 卒業式予行 表彰式 同窓会入会式       |
| 3 月 | 1 日  | 卒業式                    |
|     | 30 日 | 離任式                    |

### 同窓会クラス役員 理事

- 1 組：荒井梨帆 黒澤篤斗
- 2 組：齋藤 心 佐藤 葵
- 3 組：伊藤穂乃花 狗飼大空
- 4 組：加藤亜美 穴戸悠憲
- 5 組：高橋公太 吉川あおい
- 6 組：佐藤 希 須田楓香

(\*) 生きようというアンパンマンマーチのメッセージが被災地の人々だけでなく、震災に衝撃を受け沈んでいた日本中の人々の心にあかりを灯した。

私たちには未来は見えない。見えないからこそ未来には無限の可能性がある。時間は有限だ。3 月 1 日の最良の別れに向けて不断の努力を傾け、「今、ここ」を真剣に生きよう。その応援歌として「アンパンマンのマーチ」をもう一度聴き、歌うのもいいかもしれない。